

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 総合防災訓練事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 災害対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2745)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,341 千円 (前年度予算額：4,341 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,341	0	0	0	0	0	0	0	4,341
要求額	4,341	0	0	0	0	0	0	0	4,341
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、自然災害が頻発化、激甚化、局地化するとともに、近い将来に南海トラフ地震や内陸型地震の発生も懸念されていることから、県では、大規模災害発生に備え、災害対応力を高めることを目的に、関係機関と連携し各種防災訓練を繰り返し実施している。

令和3年度は、引き続き広域災害を想定した訓練を市町村と連携して実施するとともに、県災害対策本部緊急対策チーム員を対象とした図上訓練を実施する。

(2) 事業内容

広域災害発生を想定し、県、市町村、防災関係機関が連携した災害対策本部運営訓練を実施する。

また、専門業者に委託し、県災害対策本部緊急対策チーム員を対象とした実践的な図上訓練を実施する。

<岐阜県総合防災訓練（案）>

日時 令和3年8月又は9月（予定）

主催 岐阜県、市町村

想定 内陸型地震（平成30年度に被害想定を公表した内陸型地震を想定）

内容 ・広域防災拠点運営訓練
・協定締結機関と連携した派遣要請訓練
・ブラインドによる災害対策本部運営訓練

<災害時図上訓練（案）>

日時 令和3年10月28日前後

想定 内陸型地震

内容 緊急対策チームを対象としたブラインド訓練を業務委託で実施

（3）県負担・補助率の考え方

県主催事業のため、県負担とする。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	90	訓練連携市町村等との打合せ
需要費	228	事務費、訓練用資機材費、燃料費
役務費	43	通信運搬費
委託料	3,980	物資搬送訓練会場設営委託、図上訓練業務委託
合計	4,341	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県内での大規模災害を想定し、住民、市町村、関係機関等と連携した防災訓練や、実践的な図上訓練を実施することで、災害対応要員の識能の向上、関係機関との連携強化を図り、本県の災害対応力の強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

県内で発生が懸念される災害や防災施策に応じた訓練を毎年実施しており、訓練の内容や開催場所が毎年違うことから、指標を定量的に設定することは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 ○岐阜県総合防災訓練 令和2年8月30日（日）7:30～12:00
 ・県災害対策本部運営訓練（県庁）
 ・物資集積・輸送訓練（岐阜市） など
 ○緊急対策チーム図上訓練 令和2年10月28日（月）10:00～15:30
 ・大規模地震発生3日目を想定したブラインド型による図上訓練を実施

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 災害対応要員の識能を高めるとともに、県警察、市町村、自衛隊等の関係機関との連携強化を図ることができた。
 また、広域防災拠点における物資の受入から搬出までの手順の確認ができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	自然災害が頻発化、激甚化、局地化するとともに、南海トラフ地震や県内活断層による地震の発生が懸念される中、災害対応要員の識能の向上や関係機関との連携強化を図り、防災力の向上につなげていくため、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	災害対応要員の識能を高めるとともに、県警察、市町村、自衛隊等の関係機関との連携強化を図ることができた。 また、広域防災拠点における物資の受入から搬出までの手順確認など、実践的な訓練ができた。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	県庁での災害対策本部運営訓練のみならず、市町村・警察・自衛隊・ライフライン事業者等との連携訓練や物資集積・輸送訓練を行うなど、実践的・効果的な訓練を実施している。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 防災訓練を繰り返し実施することで、防災上の弱点や課題を検証し、継続的に各種計画やマニュアルを検証・修正していく必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 防災対策に終わりはないことから、関係機関との連携確認や県の体制の検証も行う実践的な防災訓練を実施することで、県の災害対応力を更に高めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	